

コード	404030101
記入日	H25.5.31

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	島元 敬三

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	うどん産業育成補助事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	4	政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保	款コード	7		
施策コード	404	施策名称	次世代のしめの可能性を広げる産業づくり	項コード	1		
基本事業コード	40403	基本事業名称	うどん産業の育成	目コード	3		
事務事業コード	4040301	事務事業名称	特産品開発支援事業費	細目コード	896		
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町補助金交付規則 新上五島町商工観光振興奨励事業費補助金交付要綱				

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	長崎県五島手延うどん振興協議会	(対象指標1)	1団体			
(対象2)	町内うどん製造業者	(対象指標2)	30業者			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・五島手延うどんの産地における工場の衛生管理・商品の品質についてのレベルアップを図る認証制度の確立や、五島手延うどんの認知度向上を目指し、長崎県五島手延うどん振興協議会に補助金を交付した。 →町内うどん業者 30社 →認定工場業者数 15社 →認証商品数 20商品 →24年度出荷額 10億円(予想値)	***** 補助金交付件数	***** 1件	***** 100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	長崎県五島手延うどん振興協議会から申請があり、内容を確認し補助金を交付した。			
		***** 認定工場審査回数	***** 0回	***** 0%	***** 認定工場審査回数÷ 計画認定審査回数	***** 平成24年度
		② (達成率分析)	新規認定工場審査の申請がなく実施していない。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・五島手延うどん生産者が商品の品質向上の意識や技術を高めることにより、消費者が商品に対して信頼し、安心して購入できるようになることを目的としている。その具体的な手段として、認定工場、認証商品の制度の確立を目指している。また、産地全体としてPR活動を実施することにより、五島手延うどんの全国的な知名度向上を目指している。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 認定工場数	***** 15社	***** 50%	***** 認定工場数÷ 町内工場数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	島外への販売を目指している業者の製麺工場認定はほぼ終了した。地元販売が中心の比較的小規模な業者に対する衛生管理の意識を向上させる取組が実施できている。			
		***** うどん出荷額	***** 10億円	***** 62.5%	***** 前年度うどん出荷額 ÷目標出荷額	***** 平成24年度
		② (達成率分析)	出荷額については、平成23年度と比較すると減少している。産地として、まとまったPRが不足していることが原因であると考えられる。			

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	8	8	7	1	1				
	② 回	16	15	15	1	0				
成果指標	① 社	20	15	15	5	0				
	② 億円	84	78	68	16	10				
総事業費 C (A+B)	千円	8,968	8,968	7,068	1,900	1,900				
直接事業費 A	千円	2,668	2,668	2,168	500	500				
人件費 B	千円	6,300	6,300	4,900	1,400	1,400				
内訳	従事職員数	人	0.9	0.9	0.7	0.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	1,500	1,500	1,000	500	500			
	その他	千円								
一般財源	千円	7,468	7,468	6,068	1,400	1,400				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	日本経済はやや回復傾向が見られているが、地元においては依然として厳しい経済状況にあることや、地元雇用の拡大を求める住民のニーズを考慮して、事業を継続する必要がある。また、消費者が「食の安全・安心」を求めており、五島うどんの認証制度を確立することは必要である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	産地の出荷額は減少し、PR不足は否めないものの、「五島手延うどん」の品質に対する生産者の意識とともに、商品の品質も確実に向上している。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理 由	全国的な知名度向上を目指したPR活動について、産地全体で、目指すべき姿、戦略を明確にすることで、事業の成果を向上させることができる。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	長崎県五島手延うどん振興協議会は、民間企業の集合体であるため、行動力、情報集力ともに強力である。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理 由	長崎県五島手延うどん振興協議会の事務組織が安定してきたため、行政職員の業務量は微々たるものになっている。費用については、協議会の収入源が乏しく補助金の額を少なくすることは難しい。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	認証シールの販売について、PR活動を強化するよう促した結果、平成24年度、新たに1商品が認証シールを貼ることが決定し、多少の自主財源の増につながった。
	今後、課題に向けた改善策	五島手延うどんの全国的な知名度向上を目指したPR戦略について、計画を立てるよう促していく。しかしながら、本格的に全国的なPR活動を実施する場合は、事務量が大幅に増えることが予想され、現在の事務局だけでは、負担が大きすぎるという課題も抱えている。

2 次 評 価	事業の経過と合わせ成果の検証を行い、振興協議会の組織力の強化を図るとともに、関係団体と連携・協力し販路拡大等、更なる五島手延うどんの知名度向上とうどん産業の事業の展開を図ること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合		
	●									
		●			事業内容を見直して事業を継続					事業の休止
					事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。